



「Punto EVO パフォーマンスキット」をインストールすると、出力は215ps/5400rpmに、最大トルクは35.7kgm/3500rpmに向上する。キット価格は440,000円(税別)。取り付け工賃は140,000円(税別)となる。G-Tech Japanの販売店であるウィングオートで取り付けすれば、シャシーダイナモ調整も行ってくれる。



G-Techではサブコンを追加してパワーアップすることが多いが、Punto用はCPU本体のロムにもチューニングが施されたG-Techエンジン管理システムが採用されている。これにより点火時期や燃料噴射量など、より細かくセッティングが可能となる。



パフォーマンスキットにはG-Tech製エキゾーストシステムも含まれる。ステンレススチールで構成され、オリジナルの触媒を残し後方部分が変更される。排気効率を考慮して触媒とマフラーの結合部は70mmに拡大され、パワーアップに貢献している。



#### TUNING MENU

- G-Tech PUNTO RS-EVO 215
- G-Techパフォーマンスキット
- BMCスポーツエアフィルター
- オリジナルキャタライザーフランジ加工(直径70mm)
- G-Techインタークーラー
- G-Techステンレススチール・エキゾーストシステム
- G-Techエンジン管理システム(ロム&サブコン)
- GT560 GT-cup(フランジ加工済み)

#### SPECIFICATIONS

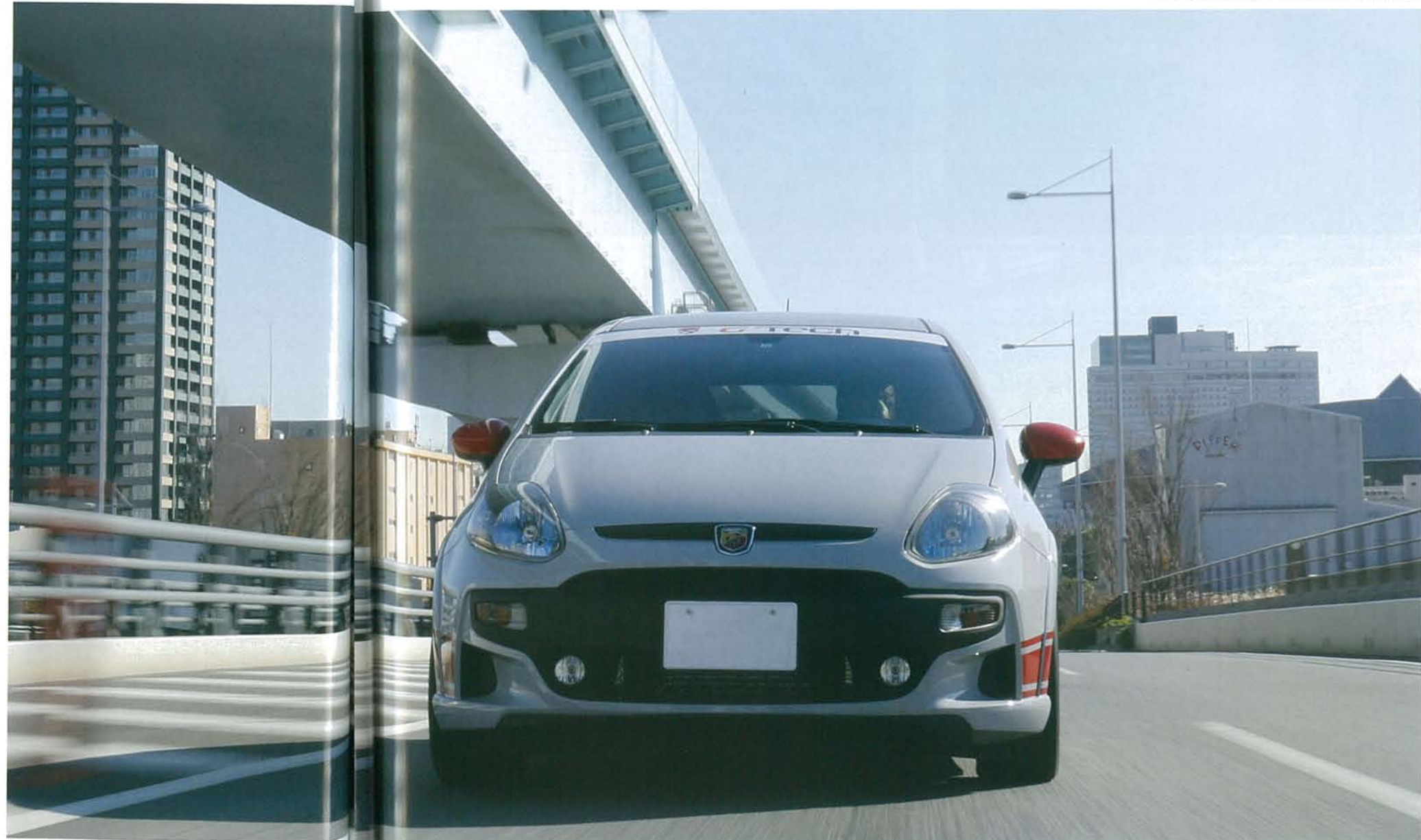
- 最高出力:215ps/5400rpm
- 最大トルク:35.69kgf-m/3500rpm
- 最高速度:226km/h
- 0-100km/h:7.1秒
- 0-200km/h:30.6秒

# Tuning Car 2015

## G-Tech アバルト・プントEVOにも パフォーマンスキットが登場

アルファロメオやアバルト、フィアットを中心に  
パフォーマンスキットを展開する「G-TECH」。  
そのラインナップにアバルト・プントEVOも加わった。

文●武井寛史 (G-Tech Racing Driver) 写真●佐藤靖彦  
text by TAKEI Hirofumi photos by SATO Yasuhiko  
企画●企画集団 音速ムービーズ  
取材協力●G-Tech Japan <http://www.g-techmbh.jp/>



ハイパフォーマンスだけでなく、TUVも認める安全性を備えるドイツの小規模自動車メーカー「G-Tech」から、アバルト・プントEVO用のパフォーマンスキットがリリースされた。

アバルト・プントEVOに搭載されるエンジンは、直列4気筒1.4ℓターボ。最高出力は163ps、最大トルクは23.5kgmを発揮するが、そこに「G-Techのパフォーマンスキット」をインストールすることにより、215psまでパワーアップし、最大トルクは12kgm以上も増える。

「G-Techジャパン」は、「G-Tech」のパフォーマンスを体感して貰うことを目的として、全国的にサブコン体験キャンペーンを実施している。今回の試乗車もその企画の一環で準備された。「G-Tech」の魅力を計るにはまず乗ることが必要。そこでインプレッションするのは、「G-Techレーシング」のドライバーでもある武井寛史が担当。様々なシチュエーションでインプレッションを行った。

まずは一般道での印象だが、小排量ターボ車の場合、低速域ではスカスカでダルなイメージがあるが、パ

フォーマンスキットの効果でトルクが増大している分、アクセルの踏み込み量が少なくても十分な加速を見せる。市街地でもケースbyケースで瞬発力が必要な場面があるので、パワーアップされていると心にも余裕が出て日常の運転が楽しくなる。

次のロケーションは東京都内を走る首都高速。ここはかなり厄介で意外と加速車線が短い入口が多い。そのため一気に加速することが求められるのだが、その点「G-Tech」のパフォーマンスキットの効果は絶大で、ブーストがかかる約1300kgの車体でも鋭い加速感を見せ、戸惑うことなく合流が可能だ。ただパワーがある分、停止状態から加速すると、ステアリングに軽くトルクステアも出るが、前輪駆動のターボ車特有の癖みたいなモノなので目を瞑ろう。

そしてひたすら長い直線の東名高速。ここでのメリットは、遅いクルマを追い越す際の加速感。6速90km/hで巡航していても軽くアクセルを踏み込めば、すぐにエンジンが反応して加速してくれる。流石、アウトバーンを有するドイツのチューニングメーカーだけあって、最高速ま

での到達時間のパフォーマンスには目を見張るモノがある。

最後に付け加えておきたいのは「G-Tech」の安全性。「G-Tech」の商品は、日本の車検対応基準よりも厳しいことで知られる「テュフ・ラインランド」(TÜV Rheinland)を取得している。テュフは様々な技術の安全を証明する技術監査協会で、ヨーロッパを中心に66ヶ国が加盟していて、国際的にも影響が大きい団体だ。もちろん日本でも認められた機構でもある。

ドイツにおいてテュフを取得するには、工場サービス、モビリティ、製品ライフケア、トレーニング&コンサルティング、システムの6つの厳しい条件をクリアしなくてはならない。「G-Tech」は、その技術監査協会の基準を守りながら開発を行っていて、厳しい検査を受けパスした商品だけを販売しているのだ。「G-Tech」の市販車用のサブコンやマフラー、エキゾーストなどのチューニングプログラムの商品は、クオリティが高く、とても安全で信頼性があるので、安心してインストールできるチューニングメーカーなのだ。